

ギカイ レポート

議会報告会

11月17日・11月18日



《報告書》



参加者からいただいたご意見

- ・環境に力を入れる協議会を作ってほしい。
- ・給食費の無料化を小野塚市長が公約に掲げていたが、物価高の世の中なので質を落とさないように気をつけてほしい。
- ・保育士の資格を持っているが保育士として働いていない方がいるので、労働条件を見直して働きやすくしてほしい。
- ・市内の障害者の就労施設をもっと充実させてほしい。最低賃金も保証してほしい。
- ・所沢カルチャーパークは多額の予算をかけているので、しっかり運用してほしい。
- ・第6次所沢市総合計画の評価検証をしっかりと行ってほしい。
- ・議会の慣例でやっていることに対し、新人議員として疑問を持ち、変えなければいけないものは変えていってほしい。

広聴広報委員会



《報告書》

行政視察

11月15日▶11月16日

委員長のひとこと



宮城県仙台市議会

テーマ「子ども議会(議会体験プログラム)」

仙台市議会は、子ども議会を始めてから20年ほど経ちますが、子ども議会に参加し、市議会議員や行政職員になった方がおそらくいると思います。その追跡調査を行うことは難しいと思いますが、何かしらの形で子ども議会に参加した児童生徒のその後が分かるような仕組みづくりができれば、より素晴らしいものになると感じました。



山形県山形市議会

テーマ

- 「議会報の取組」
- 「視覚障がい者向け議会報ダイジェスト版」
- 「議場を活用した議会報告会・議場演奏会」

山形市議会の市議会報「みちるべ」は、中核市議会議長会議会報コンクールで最優秀賞を受賞しており、今後市議会だよりを作成する上で大変参考になりました。



建設環境常任委員会



《報告書》

行政視察

10月25日▶10月26日

委員長のひとこと



山形県長井市

テーマ「中心市街地活性化」

所沢市でも市街地特性や災害リスクなどを考慮し、「コンパクト・プラス・ネットワーク」の街づくりに向けた取組をしようとしています。そのような中で、第2期長井市中心市街地活性化基本計画「時代・エリア・人をつなぐ」をテーマに、長井駅舎と本庁舎を一体化して市民の利便性を図っており、さらに子育て支援と図書館機能を持つ複合施設など、大変参考になりました。



ジークライト株式会社
(山形県米沢市)

テーマ「エコポート最終処分場」

現地を実際に視察することにより、所沢市のごみが適正に処理されていることを確認できたのはとても重要で、市民からの問い合わせにもしっかり回答できていることを確認できました。今後、所沢市でも第2一般廃棄物最終処分場が稼働することになるわけですが、委員会としてもしっかり注視していきます。



健康福祉常任委員会



《報告書》

行政視察

10月25日▶10月27日

委員長のひとこと



埼玉県戸田市

テーマ「子育て短期支援事業」

ショートステイ事業とトワイライトステイ事業の視察を通して、保育環境を充実する施策や、土曜・日曜、祝日での対応、人員確保への課題などを学ぶことができました。



福島県福島市

テーマ「特色ある幼児教育・保育プロジェクト」

子どもたちの創造性や感性を育む「特色ある幼児教育・保育プロジェクト」の視察を通して、多方面・多分野に渡る私立の幼稚園・保育施設の取組とPR支援を学ぶことができました。



岩手県盛岡市

テーマ「保育士確保対策事業、子育て短期支援事業」

保護者が働き続ける環境を実現するには、保育と労働を調和させる支援と不足する保育士の確保が重要だと考えます。保育士確保対策事業の取組の成果と課題を調査することができ、所沢市で課題の一つとなっている待遇のよい地域への保育人材流出が、盛岡市でも課題となっていることも分かり、大変参考になりました。



総務経済常任委員会



《会議録》

委員会審査

11月7日

投票率の向上に関する提言を踏まえた選挙について



これまでの
議会の活動

投票率の向上に関する提言(平成29年2月14日)

- 1、投票率の向上に向けて、より利便性の高い鉄道駅構内、ワルツ所沢ビル等の商業施設、早稲田大学等の大学構内及びまちづくりセンター等、市内の最低4か所に期日前投票所の設置を検討するとともに、共通投票所の新設を検討すること。なお、次期選挙に向けては、市役所と合わせて最低2か所の期日前投票所を確保すること。
- 2、選挙権年齢が18歳に引き下げられ、主権者教育の必要性がより求められている。今後は、教育委員会等と連携し、出前講座や模擬選挙等、小・中・高校生に対する選挙や政治への関心を高めるための取組を一層強化すること。
- 3、官学連携に関する基本協定を活用し、投票立会人に学生を選任するなど、若年層が投票所の運営に携わりやすい仕組みを検討すること。



提言に、小・中・高校生に対する選挙や政治への関心を高めるための取組を一層強化することとあるが、若年層に向けて取り組んだ施策について、どのように評価しているのか。



高校等での出前講座や模擬投票のほか、若年層の方に投票立会人をお願いするなど、体験型・参加型の取組を行っています。また、高校生による防災無線での投票の呼びかけを行いました。高校入学前に模擬投票を経験したことがきっかけで参加された方もいるため、取組の一定の効果があるものと考えています。こうした取組を通じて選挙や政治への関心を高められるよう、今後もしっかりと続けていきます。



市民文教常任委員会

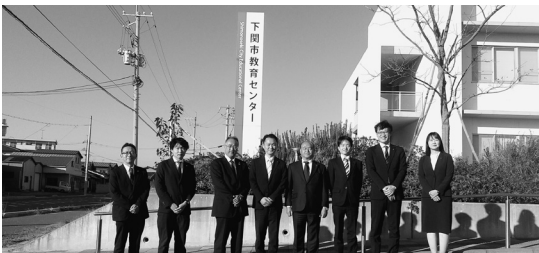


《報告書》

行政視察

11月20日▶11月22日

委員長のひとこと



山口県下関市

テーマ「下関市教育センター」

所沢市のコミュニティスクール推進事業は、令和5年度から4校を選定して開始し、令和7年度に全ての学区に設置を終えるものとしています。教育委員会が新たな取組がスタートしたところであり、下関市が先進的に取り組むコミュニティスクールの実態を学び、今後の設置に際し、委員会としてとても参考になるものでした。



兵庫県姫路市

テーマ「義務教育学校」

中1ギャップが原因で不登校になる子どもがいると考えられる中、義務教育学校は小中一貫としての教育のため、この課題解決につながります。さらに、姫路市が取り組む教育は、所沢市でも必要とされる児童生徒の自尊心の向上につながることが学べました。今、所沢市が抱えるこれらの課題解決に役立つものでした。



兵庫県芦屋市

テーマ「インクルーシブ教育」

現在、所沢市では、市内小中学校で特別支援学級の拡大に取り組む中で、障がいの有無に関係なく、共存して教育を受ける環境をさらに構築する必要があります。芦屋市教育委員会では、就学前の子ども教育にインクルーシブ教育を取り入れており、委員会としてインクルーシブ教育の推進を図る上で、新たな観点で考えることができる内容でした。